



# こんにちは、岡田よしひでです

2021年4月4日 発行  
県議会活動報告ニュース  
NO.77

自宅 南州市浜改田 430-1  
TEL/FAX 865-2932  
携帯 090-4337-4527

岡田よしひで事務所 864-2426 南州市駅前町 2-5-11 県議会共産党控室 823-9524 高知市丸ノ内 1-2-20

## 県議会 教員の採用、審査について

本県の教員採用審査における内定辞退者数の多さは異常です。2019年度は、小学校教諭の採用予定者数120名に対し、採用内定者数128名を発表したものの、辞退者が98名もでていきます。辞退率は76.5%です。20年度は、同じく小学校教諭で採用予定者数110名に対し、採用内定者数150名を発表したものの（受審911名）、辞退者数は97名、辞退率は64.6%です。全国で一番早い6月の実施や関西会場実施などにより、本県の採用者数定員に対する受審倍率は7.4倍、



国分寺の桜と抹茶カフェ（南州市=3月27日）

全国第2位という高倍率です。受審倍率を増やして優秀な教員を多く確保するとされていますが、7割もの辞退者を出す採用審査制度は見直すべきではないでしょうか。

教育長は、多くの受審者の中から必要な採用者数を確保できていることから、今の採用審査制度はうまく機能しているものと考えている、令和7年度までは大量の退職が続くため更により良い審査方法を研究しながら、本県が求める資質や能力を有する優秀な人材を確保できるよう、引き続き取り組みでいく、と答えました。

辞退者の多い内定者を追いかけるのではなく、高知の教育現場で頑張っている臨時教員の皆さんの登用に目を向けるべきではないでしょうか。他県で取り入れている、必要な教員を確実に採用、確保できる選考審査として、臨時教員対象の特別選考枠を設定するなどの方法を検討すべきです。また、学級担任など正規教員と同じ職務を5年も続けられ、民間企業と同じように無期雇用へ転換したり、正規化したりする仕組みが必要と考えます。

教育長は、他県の取組なども情報収集しながら、引き続き、採用審査の実施方法等について研究を行ってまいります、また、民間と同様に正規化する仕組みについては、現行の法令等のもとでは困難である、と答えました。

## 海自潜水艦が貨物船に衝突

海上自衛隊の潜水艦「そうりゅう」が足摺沖で貨物船と衝突した事故に関して、この海域には多くの漁船が出てくることから、浮上訓練・演習を実施させないという強い要請が必要です。

知事は、再発防止策が県に示されることになっており、仮に対策が不十分であると判断した場合には、訓練の中止も含めて国に働き掛けていくことも必要だと考えている、と答えました。合わせてリマ水域の撤廃に向けた対応を求めました。知事は、非常に困難であると受けとめているが、指定解除を粘り強く求めていくと答えました。

## おむすび通信 (77)

ここ数年、岡豊山と国分寺に花見に出かけています。

山全体が桜に包まれる岡豊山は、コロナ禍で減っているとはいえ今年も家族連れらで賑わっています。国分寺の枝垂れ桜は風情があります。落ち着いた抹茶カフェからの庭の眺めは格別です。

共産党県議団では、県議会ニュースを準備していますので、出来上がりしだい皆様にお届けします。